

若手現場担当者向けフォローアップ研修 ～現場運営とコミュニケーション対人力UP～

【2日間コース】 平成30年5月10日（木）～11日（金）

【担当講師】 丸谷 正 ㈱日本コンサルタントグループ 建設産業研究所
※グループ（5～6人）形式受講

1日目	内 容
8:45	1. はじめに・・・建設現場を振り返ろう
10:00	（1）入社してから今までを振り返って こんな体験はありましたか、建設現場での実例
11:00	・作業開始前の、日々の安全管理書類はどのようなものがあるか ・工程把握できる範囲は広がったか、 明日の作業→週間作業→月間→全体へと ・品質検査はどのようなものを経験したか（例：生con受け入れ）
12:00	
13:00	2. 入社してから今までの施工管理経験を振り返ろう・・・（グループ討議）
14:00	（1）これまでどんな仕事（現場実務）をしてきたか ・・・失敗や困ったことのディスカス （2）実務で学んだ技術のノートを持ち寄る （3）グループ別発表 （4）講師からのアドバイス
15:00	3. 現場代理人の役割と責任（解説+グループディスカス+ロールプレイ） 現場の知識・建設会社の仕事・各部署の役割について振り返り ～建設業務の疑問点について、まとめ、わからないことを無くして おこう～
16:00	グループ毎に実務上で取り組んだこと、その中での疑問点、得た知識などをまとめ発表する。
17:00	終了予定

2日目	内 容
8:45	4. 建設現場における対人能力について
	(1) 建設現場内のコミュニケーションについて
	技術者にはどんな対人能力が必要なのか
	①発注者、近隣とのコミュニケーション
	技術的な説明をすることに必要な視点
10:00	②協力業者とのコミュニケーション
	安全指示を徹底させるために
11:00	③OJTで教わった技術の棚卸しとその習得
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質や出来形管理で実施したこと
	(例：舗装厚や躯体形状などの検測はできたか)
12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・測量墨出し業務で実施したこと
	(例：トラバーを基準に座標を落とし込めたか)
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・工程管理で作成したこと
	(例：出面を記録することはできたか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理で事前検討したこと
	(例：リスクアセスメントの記載内容は理解できたか)
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ・施工計画書に記載されている内容と現場の内容は一致できるか
	(例：施工体制台帳、品質計画、安全管理体制など各項目は
	その意味を理解できているか)
	技術について教わったことの内容と、その結果どう感じたか
15:00	良かった、もしくは困ったなど)の事例を書き、グループ内で
	発表する(講師から内容についてアドバイス)
16:00	5. 建設業界の仕事の大切さ、面白さを考えよう
	～2日間の研修を終えて～レポート作成、決意表明～
17:00	これからの実務の中で取り入れたいこと
	まとめ

受講者持参物として

- ・入社してから現在まで自身の現場での知識習得や業務記録のために記載したノートもしくはメモ帳(一部でも結構です)
(グループ演習で体験共有として使用します)
- ・筆記用具